
2026 年 6 月 15 日 発行

■■ 民紹協メルマガ通信 NO. 192 ■■

発行：民紹協

いつもお世話になっております。本メールは、2 週間に 1 回提供しています。

<コンテンツ>

◆◆ 今週のひとこと

◆◆ T O P I C

◆◆ 気になる統計の動き―労働災害、死亡者数は過去最少

◆◆ 今週のひとこと

■ 燕返し

先日、燕に出会いました。江戸時代から続く用水路の上、光が舞い降りたかと思うと、真横に飛び去りました。「なぜ、こんなに鋭角的に曲がれるのだろう」と思いました。

理由を調べると「翼」と「筋肉」でした。燕の細い尖った翼は戦闘機と同じで、トップスピードのまま旋回ができます。燕尾（えんび）も急旋回を助けます。そして、強靱な胸の筋肉は F1 カーのように旋回後の急激な加速を可能にします。

実は、燕には、驚異的な「視力」もあります。上から降りて水平に飛んだ燕は、上空から小さな虫を見つけて急降下し、捉えるや否や、地面に激突しないように急ターンした可能性が高いと考えられるそうです。

「燕」といえば、江戸初期の剣客・佐々木小次郎の「燕返し」を忘れることはできません。小次郎は、岩国の錦帯橋近くで燕を切り落としてこの秘技を会得したといわれます。どんな技だったか残念ながら伝わっていませんが、「横に切る技」でなかったかという人がいます。当時は、現在の剣道のように軽い竹刀で 3 段打ち、4 段打ちという技を繰り出すことはなく、刀を真正面から振り下ろすのが基本だったとか。しかも、小次郎は“物干竿”と呼ばれるような長刀でした。振り下ろし、かわされて、刀の先が下がり、相手が「しめた」と思ったところで、電光石火で横に切る技ではなかったかということです。想像たくましい話ですが。「なるほど」と思います。そして、上から来て横飛びした燕を思うと、「小次郎と同じものを見たかもしれない」という気がして、うれしくなりました。



◆◆ TOPIC

このコーナーでは、最近の労働関係の動きの中から、民営職業紹介事業に関係のある話題を紹介しています。

■ 1 昨年の出生率、過去最低／厚労省

厚生労働省は、6月3日、「2025年人口動態統計月報年計(概数)」を発表しました。これによりますと、1人の女性が一生の間に産む見込みの子どもの数を表す「合計特殊出生率」は1.14と、1947年の統計開始以降で過去最低になりました。都道府県別に高いところと低いところを見ると次のとおりです。

〔高い都道府県〕

- ―①沖縄県：1.52
- ―②宮崎県：1.46
- ―③長崎県：1.42
- ―④熊本県：1.40
- ―④香川県：1.40

〔低い都道府県〕

- ―①東京都：0.96
- ―②北海道：1.00
- ―②宮城県：1.00
- ―④京都府：1.03
- ―⑤秋田県：1.05

<詳しくは>

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai25/dl/gaikyouR7.pdf>

■ 2 団体等検定制度についての出張相談会を開催／厚労省

厚生労働省は、6月12日、本年度第1回の「団体等検定制度についての出張相談会」を7月2日に実施することを発表しました。これは、独自に労働者の職業能力検定を実施している又は立ち上げを検討している企業・団体を対象に、オンライン（ウェビナー）併用で

開催し、「団体等検定制度」に関する説明、検定制度の立ち上げ方、試験基準の策定手順、あわせて同制度に関連する人材開発支援助成金および教育訓練給付制度の概要についての説明も行います。本相談会は、厚生労働省から委託を受け、（公社）日本看護家政紹介事業協会が実施するものです。

<詳しくは>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73452.html

■ 3 「フェムテック」のガイドライン公表／経産省

経済産業省は、5月27日、女性の健康課題への対応策の1つとして、フェムテックを活用する際のポイントや事例をとりまとめた「企業・自治体等向け 女性の健康課題の解決に向けたフェムテック導入ガイドンス」（資料）を公表しました。「フェムテック」とは、Female（女性）と Technology（技術）を組み合わせた言葉で、月経、不妊、妊娠・出産、更年期など女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスなどを指します。同資料では、

―Step1：課題の認識

―Step2：方針・施策検討

―Step3：製品・サービス選定

―Step4：組織内調整

―Step5：試験導入・評価

の順に進めるべきとして、企業の経営者・管理者に対して、基本的な考え方、健康課題に応じたフェムテック製品・サービスの例、導入する際の5つのステップ、導入事例などを分かりやすく説明しています。

<詳しくは>

<https://www.meti.go.jp/press/2026/05/20260527002/20260527002.html>

■ 4 ジェンダーギャップを可視化するツールを公開／民間調査

日本女性学習財団は、6月1日、「あなたの職場のジェンダーギャップ・チェックリスト」を公開しました。リストは、職場の日常に潜む男女格差を可視化するためのもので、企業向けと個人向けがあります。個人向けでは、

―「採用・雇用形態」（4問）

―「配置」（5問）

―「育成」（6問）

—「評価・登用」(5問)

—「環境・慣行」(10問)

の5つの領域(全30問)で構成され、WEB上で回答すると領域ごとの結果や全体の評価をフィードバックしてくれ、男女格差が生じる背景の理解と格差解消に向けた検討の手がかりを提供するものとなっています

<詳しくは>

<https://www.jawe2011.jp/publish/gendergap-checklist>

■ 5 20代求職者の8割が、カジュアル面談に参加を希望／民間調査

(株)学情は、6月1日、「カジュアル面談」について行ったインターネットアンケートの結果を公表しました。「カジュアル面談」とは選考や評価を目的とせず気軽に話すことで相互理解を深める面談のことです。調査対象者は企業・団体の人事担当者及び20代向け転職サイトを利用する求職者で、前者の企業の方が295件、後者の求職者の方が154件でした。アンケートによりますと、企業の実施状況は、「現在実施している」が52.7%でした。「現在は実施していないが、これから実施予定」6.2%と「実施しておらず、現在検討中」16.4%を合わせた、実施に前向きな企業も計22.6%ありました。また、求職者側では、「参加したい」44.8%、「どちらかというに参加したい」40.3%を合わせて計85.1%が参加したいと回答しました。企業側にカジュアル面談を実施検討する目的や期待する効果を聞くと、「ミスマッチの防止」が79.7%と最多で、「志望意欲の醸成」51.6%、「応募数を増やす」41.0%が続きました。

<詳しくは>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001534.000013485.html>

☆—————☆

◆◆ 気になる統計の動き

このコーナーでは、「行政の動き」「統計の動き」「労務管理」「研究・報告」等のテーマの中から、適宜取り上げて紹介しています。本号では、「統計の動き」として、令和7年の労働災害発生状況を見ていくこととします。

■ 労働災害、死亡者数は過去最少

厚生労働省は、5月27日、令和7年の労働災害発生状況(確定値)を取りまとめ、公表しました。同省では、「第14次労働災害防止計画」(令和5～9年度)において、令和9年

までに令和4年比で「建設業及び林業においてそれぞれ死亡災害を15%以上」、「製造業における機械によるはさまれ・巻き込まれの死傷者数を5%以上、陸上貨物運送事業の死傷者数を5%以上」減少させること等を目標にして取り組んでいます。公表された概要は、次のとおりです。

〔概要〕

1 死亡者数

(1) 死亡者数は700人(前年比△46人・△6.2%)と、過去最少となった。

—令和3年：778人

—令和4年：774人

—令和5年：755人

—令和6年：746人

—令和7年：700人

(2) 業種別では、多い順に、建設業、製造業、陸上貨物運送事業となった。

—建設業：214人(前年比△18人・△7.8%)

—製造業：115人(同△27人・△19.0%)

—陸上貨物運送事業：80人(△28人・△25.9%)

(3) 事故の型別では、多い順に、「墜落・転落」、「交通事故(道路)」、「はさまれ・巻き込まれ」となった。

—「墜落・転落」：186人(前年比△2人・△1.1%)

—「交通事故(道路)」：126人(同+3人・+2.4%)

—「はさまれ・巻き込まれ」：117人(同+7人・+6.4%)

2 休業4日以上之死傷者数

(1) 休業4日以上之死傷者数は135,333人(前年比△385人・△0.3%)となった。

—令和3年：130,586人

—令和4年：132,355人

—令和5年：135,371人

—令和6年：135,718人

—令和7年：135,333人

(2) 業種別では、多い順に、製造業、商業、保健衛生業となった。

—製造業：26,371人(前年比△305人・△1.1%)

- 商業：23,128 人（同+1,089 人・+4.9%）
- 保健衛生業：19,291 人（同+424 人・+2.2%）

（３）事故の型別では、多い順に「転倒」、腰痛等の「動作の反動・無理な動作」、「墜落・転落」となった。

- 「転倒」：37,195 人（前年比+817 人・+2.2%）
- 腰痛等の「動作の反動・無理な動作」：22,166 人（同△52 人・△0.2%）
- 「墜落・転落」：20,864 人（同+165 人・+0.8%）

※ 死亡者数及び死傷者数は、いずれも新型コロナウイルス感染症への罹患による労働災害を除いたもの。

<詳しくは>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73382.html

☆—————☆

◆◆ 《「厚労省人事労務マガジン」ダイジェスト》

ここでは、月２回程度発行される厚生労働省発行「人事労務マガジン」の最新号について、職業紹介事業者の法令等改正に関係ありそうなものを取り上げて紹介します。

■2026 年 6 月 3 日発行 人事労務マガジン／定例第 188 号 ■

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73547.html

※ 関係法令の制定や改正に関する情報掲載はございません。

．．．．． 民紹協からのお知らせ ．．．．．

◆職業紹介責任者講習◆

職業紹介責任者の方はもとより、職業紹介責任者が行う従事者に対する教育として事業報告書に記載が可能です。是非当協会の講習を教育の機会としてご活用ください。

【集合型（リアル開催）】

- ◇宮城：8/21（金）
- ◇東京：7/6（月）、7/13（月）、8/3（月）、8/24（月）、9/4（金）、9/14（月）
- ◇愛知：9/18（金）
- ◇大阪：7/24（金）、8/28（金）
- ◇福岡：7/3（金）、

【オンライン】

7/1（水）、7/8（水）、7/10（金）、7/15（水）、7/17（金）、7/22（水）、7/27（月）、7/29（水）、
8/1（土）、8/5（水）、8/7（金）、8/17（月）、8/19（水）、8/26（水）、8/31（月）、9/2（水）、
9/7（月）、9/9（水）、9/11（金）

2. 職業紹介事業実践セミナー（オンライン開催）

※従事者教育としてご利用ください

職業紹介事業者及び従事者の方々を対象に、実践的な知識及びスキル等能力向上を図ることを目的として、オンライン（Zoom）で開催しています。「基本編」と「応用編」がありますので、経験等に合ったものをお選びいただくことができます。もちろん従事者教育として事業報告書へ記載可能です。疑問を直接相談できる質疑応答の時間もご用意しております。知識をアップデートし、新たな一步を踏み出す機会としてぜひご参加ください。

【基本編】

令和8年7月24日（金）13：00～17：00 Zoom
「外国人材の職業紹介事業スタートアップセミナー」
令和8年9月15日（火）14：00～17：00 Zoom
「新・紹介担当者のための求人票セミナー」

【応用編】

令和8年8月28日（金）13：00～17：00
「職業紹介事業実務力アップセミナー」
令和8年9月10日（木）14：00～17：00
「外国人材の定着を高める”フロー×ストック”戦略セミナー」
令和8年9月25日（金）14：00～17：00
「行政機関による定期指導・調査の実務」

<https://www.minshokyo.or.jp/seminar/>

★このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。

許可なく転載することを禁じます。

[illegible]